

# 野党 党首 会談

# 参院選1人区 一本化で合意



5野党1会派による野党党首会談。中央左は共産党・志位和夫委員長=1月28日、国会内

夏の参院選に向けて、5野党1会派(共産、立民、国民、社保、自由、社民)は1月28日の党首会談で、安倍政権打倒へ全国32の1人区のすべてで候補者を一本化することに合意しました。

## 安倍自公政権と真向対決

会談では、「毎月勤労統計」問題の全容説明や内政・外交の課題で国会での協力連携を強め、安倍政権に厳しく対抗していくことでも一致。各党の書記局長・幹事長間で早急に具体化の協議を進めることを確認しました。

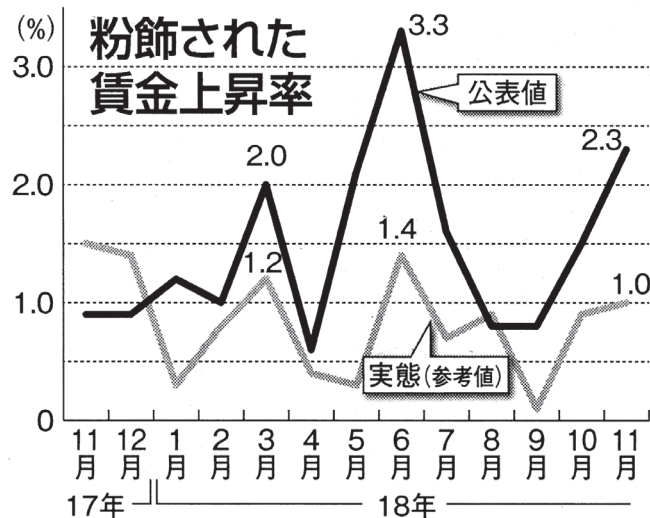
日本共産党の志位和夫委員長は一本化の協議をすすめるうえで、「市民連合」と各党が交わした合意を踏まえ、政策問題の協議を進めていくことを提起し、各党・会派で確認されました。

暮らしに希望を **日本共産党** 力あわせ政治を変えよう

折り目

# 統計不正「賃金増」は虚構

# 消費税増税の根拠総崩れ



厚労省資料から作成。現金給与総額の伸び率。「公表値」は毎月勤労統計で公表されてきた数字。「実態」は統計に添付された「参考値」で、データかさ上げの影響を除いた数字

### 「アベノミクス偽装」

昨年の実質賃金は、実際は大幅マイナスだった?!毎月勤労統計の不正追及で、賃金が実態よりかさ上げされていることが明らかになる中、メディアは「アベノミクス偽装」と批判。賃金は「緩やかに増加している」(月例経済報告)との政府の認識は虚構で、消費税10%増税の前提が崩れました。

安倍首相は「今世紀に入って最高水準の賃上げが継続」

と強弁していますが、首相が唯一すがっている労働組合「連合」の調査は、物価の上昇を織り込んでいない名目の賃上げ率。物価上昇分を差し引いた実質では1%程度で「今世紀に入って最低」です。

「少なくとも統計不正の事実説明抜きに増税を強行するのは論外」(日本共産党・志位和夫委員長)です。

**日本共産党**